



この上ない最高の場所

カムイワッカ湯の滝

文・米田 紗衣（公園事業係）

カムイワッカ湯の滝とその歴史

皆さんは知床国立公園の奥地に位置するカムイワッカ湯の滝という場所をご存じでしょうか。

カムイワッカ湯の滝は知床五湖から約十キロ奥に位置し、川全体が温泉になっているという特異な場所です。温泉の温度は、入口は30度前後、上流部まで行けば40度前後まで上がります。聞こえてくる沢の音、肌で感じるお湯の温もり、振り返れば見えてくるオホー

ツク海。原始的な自然に佇む秘境の地を五感で堪能できる唯一無二の場所です。

カムイワッカ湯の滝の歴史は長く、1980年代以降から野湯や沢登りの場所として多くの人に愛されていました。しかし以前から懸念されていた落石の恐れを理由に、2006年から1の滝以奥は立入禁止となりました。その後、地元住民を含めた多くの方々より

2023年度の新たな取り組み

2023年度、カムイワッカ湯の滝のあり方は大きく前進しました。これまで立入禁止とされていた1の滝以奥を含め、1〜4の滝を18年ぶりに開放したのです。代わってリスク対策として落石やヒゲマに関するレクチャーのオンライン受講が義務化され、アクティビティは完全事前予約制となりました。さらに利用の質を向上させるため利用人数は一時30名、一日210名までと定められました。

利用方法が大幅に変更となったことで業務マニュアルの作成や外部との調整、周知広報など苦労した点は多数あり、ゼロから新たな事業を作り上げるといったことはこんなにも大変なのかと痛感した日々でした。

しかし業務期間を思い返すと最初に出てくるのは「最高の三か月だった」という言葉です。そう思えたのはいくつか理由があります。

一つ目に「多くの人がこの事業に携わっていたこと」です。現場

の運用には知床財団だけではなく協議会の他組織や行政関係者が関わり、知床財団でも多数の係が横断的に協力してくれました。新たな事業でノウハウが無い中、最適な運用方法やアイデアを出しながら作りあげていく現場には刺激や学びが沢山あり、何よりも充実していました。他組織にも「この一年を一緒に成功させよう」と言ってくれる仲間がいたことは担当者としても励みでしたし、その他でも支えてくれた方々には今でも感謝しています。リスクの多い場所でありながら大きな事故なく一年を終えることが出来たのは、関わって下さった方々の協力があったこそだと思っています。

二つ目に「お客様から嬉しい言葉を沢山頂けたこと」です。アクティビティを体験したお客様から「北海道旅行の中で一番楽しかった」「こんな魅力的な場所は世界でここだけだ」など嬉しい言葉を沢山頂きました。お客様の楽しげで満足した表情はカムイワッカの魅力が再認識させてくれました。そして何よりも嬉しかったのは、

利用期間終了後に実施した利用者アンケートでスタッフの接客が非常に高評価だったことです。誠心誠意対応するスタッフの姿勢がお客様に伝わっていたというのは、現場で働くスタッフにとって何よりの励みになります。

カムイワッカ湯の滝は国立公園のあるべき姿？

有料化や利用制限と聞くと否定的なイメージを持つ方も多くいかもしれません。しかし私は、観光地を経済面や環境面、そして何より安全面の側面から持続的に維持していくには、資金や仕組みづくりが必要不可欠だと思っています。カムイワッカにおいてもまだまだ課題は山積みですが、レクチャーなどのリスク対策を取り入れた中で、目標人数であった6000人を達成し、利用の仕組みを一定程度確立出来たということは十分に評価に値すると思います。

2020 1の滝まで自由利用

1の滝より奥は一切利用不可

2021 1の滝まで自由利用

2から4の滝までは…
試行事業 A ガイド付きツアー
試行事業 B 予約・レクチャーが必須の個人利用

2022 1の滝まで自由利用

2から4の滝までは…
試行事業 B 予約・レクチャーが必須の個人利用

2023 4の滝まで利用可に!

カムイワッカ湯ノ滝のぼり START

予約・オンラインレクチャーで個人利用が出来るようになった!

試行事業! 4の滝下まで利活用を検討!

※カムイワッカの試行事業は、「知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化検討協議会」が主催となり、事業として実施されています。

知床財団のスタッフは普段どんな仕事をしているの？
あまり知られていない日々の取り組みをご紹介します。



ダイキンボランティア

2024年2月2日～2月5日にかけて、ダイキン工業の「第23回知床ボランティア」を開催しました。この活動は、ダイキン工業の社員の皆様がボランティアで知床に訪れ、知床財団の職員と一緒に100平方メートル運動の森づくり作業を行うものです。2011年から始まり、これまでに総勢218人が参加しました。

今回の参加者は9人、作業は冬期開拓小屋コースの設置作業やアカエゾマツ人工林の間伐を行いました。冬は日も短く時間は限れていますが、皆さんの活躍により、作業を完了することができました。毎年秋と冬に知床に来てくれるダイキン工業の皆さんは、頼もしい存在であり、私たちは、たくさんの励ましと元気をいただいています。これからも森づくりのパートナーとして、歩みを共にできれば嬉しい限りです。今後とも知床をよろしく願います。



ふるさと体験教室『知床 Kids』冬の生き物観察

ふるさと体験教室『知床 Kids』は、羅臼町の子どもたち（小学4,5,6年生）を対象に、羅臼町教育員会主体で環境省、知床財団が協力し実施している事業です。

今回の知床 Kids は、「冬の生き物観察」が行われました。子供たちは、ダイキン工業から寄贈してもらったスノーシューをはいて雪の上を歩き、食痕や足跡などのフィールドサインや野鳥、樹種の観察を行い、羅臼の自然と生き物について学びました。子どもたちは馴れないスノーシューに戸惑いながらも、楽しそうにフィールドを駆け回っていました。フィールドで学び、ふるさとの土地に直に触れ、体感することは、地元の子供たちにとって、とても大事な体験です。ちょっとした発見が思い出とともに、成長に繋がることでしょう。

知床財団ホームページ「活動ブログ」にて、詳細をぜひご覧ください！



活動日記 知床財団



湯ノ滝のぼり
楽しみ方

KAMUY-WAKKA HOT FALLS CLIMBING
アクティビティの詳細や予約は全てこちらから

公式 HP

Instagram

X (旧ツイッター)

KAMUY-WAKKA
カムイワッカ湯ノ滝のぼり

私がカムイワッカと出会ったのは、知床財団に入社してから二か月後のことです。当時の上司にカムイワッカ湯の滝を案内してもらった後、普段は利用されていない硫黄山方面の森にも連れて行ってもらいました。そこには硫黄を採掘し、海へと搬出した跡や鉱山道路が歴々と残っていました。カムイワッカ園地は遺産地域で「大自然」「アクティビティ」「歴史と文化」が一体的に楽しめる素晴らしい場所だと感銘を受けたと同時に、この周辺には未開拓の魅力が多く詰まっている場所だと気

私とカムイワッカ、そしてこれから

付かされたことを、今でもよく覚えていています。カムイワッカの未知なる可能性を教えてくれた当時の上司にはとても感謝しています。「価値ある自然を『公園』として保全し、広く感動と体験の場として公開する」これは、上司がいつかのSEEDSに書いていた言葉です。カムイワッカはまさにこの言葉を実現出来る場所です。私の大好きなカムイワッカという場所が、今後更なる発展を遂げ、多くのお客様に感動を与えられる場所となることを心から楽しみにしています。